

## 教育研究業績

芸術学部芸術学科デザイン領域

氏名	扇 千花		職名	教授
教育活動	[学部] デザイン実技Ⅰ, デザイン基礎演習A, デザイン実技Ⅱ, デザイン演習Ⅰ, デザイン実技Ⅲ, デザイン演習Ⅱ, デザイン実技Ⅳ, 卒業研究			
学位	博士(美術)(京都市立芸術大学)			
学歴	昭和57年3月 成安女子短期大学研究科修了 平成9年3月 京都精華大学大学院美術研究科修了 平成18年3月 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程修了			
職歴	平成17年4月 名古屋芸術大学デザイン学部 准教授(平成25年3月まで) 平成25年4月 名古屋芸術大学デザイン学部 教授(平成29年3月まで) 平成26年4月 University for the Creative Arts Farnham, UK 客員教授(平成27年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科デザイン領域 教授(現在に至る)			
専門分野	テキスタイルデザイン			
研究課題	産地を核としたローカルデザインの可能性 日本各地にあるテキスタイル産地が持つ技術を現地調査し、そのポテンシャルを探りながら、異なる産地の技術を組み合わせ、それに最新技術を付加して、新たなテキスタイルデザインを開発し、新しい価値を創造する。			
教育研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「名古屋芸術大学テキスタイルデザイン教育の試み 地場産業と連携して社会につながるものづくりに挑む」(共著) 染織情報α (株式会社染織と生活社 平成22年5月)</li> <li>・「英国滞在記 テキスタイル産業編 起業家の精神で活動するクリエイター」(共著) 染織情報α (株式会社染織と生活社 平成28年1月)</li> <li>・「英国滞在記 テキスタイル教育編 創作の思考プロセスを重視する教育」(共著) 染織情報α (株式会社染織と生活社 平成28年4月)</li> <li>・「パリ滞在記 展示会編 欧州大陸の芸術が交差する拠点」(共著) 染織情報α (株式会社染織と生活社 平成29年8月)</li> </ul> <p>[個展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「距離感のみちかけ」(ギャラリーギャラリー・京都 平成21年)</li> <li>・「みえないけれどそこにいるのはわかる」(ギャラリーギャラリー・京都 平成24年)</li> <li>・「余白が生まれる」(ギャラリー揺・京都 平成25年)</li> <li>・「many little things」(ウーロンゴン大学・オーストラリア 平成28年)</li> <li>・「水の底を覗き込む」(ギャラリーギャラリー・京都 平成29年)</li> </ul> <p>[グループ展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自宅から美術館へ」(和歌山県立近代美術館) (平成21年)</li> <li>・「あいちアートの森」(SMBCパーク栄、中央広小路ビル) (平成21年)</li> <li>・アトリエコンサートドキュメント展 (名古屋芸術大学アート&amp;デザインセンター) (平成22年)</li> <li>・第13回国際タペストリートリエンナーレ(ウッジ、ポーランド) (平成22年)</li> <li>・セイアン・フロンティア (成安造形大学アートサイト・滋賀) (平成22年)</li> <li>・TEXTILE PARTY(シファ・岡山) (平成23年)</li> <li>・Bite-sized: Miniature Textiles from Japan and the UK (大和日英基金the Japan House Gallery・ロンドン) (平成23年)</li> <li>・Bite-sized: Miniature Textiles from Japan and the UK (ギャラリーギャラリー・京都、名古屋芸術大学・愛知) (平成24年)</li> <li>・テキスタイルアート・ミニアチュール3 百花百粋 (伊丹市立工芸センター・兵庫、Gallery5610・東京) (平成25年)</li> <li>・The Kyoto (ギャラリーギャラリー・京都) (平成27年)</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回リガ国際テキスタイルとファイバーアートトリエンナーレ(国立美術館・ラトビア)(平成27年)</li> <li>・テキスタイルアート・ミニチュール4 百花百遊 (Gallery5610・東京、金沢21世紀美術館・石川)(平成27年)</li> <li>・kawaii - crating the Japanese culture or cute (The James Hockey Galleries, UCA, Farnham, UK, Rugby Art Gallery and Museum )(平成27年)</li> <li>・テキスタイルアート・ミニチュール展5 白化白雌 (Gallery5610・東京、祥明大学校ギャラリー・ソウル、福岡アジア美術館交流ギャラリー)(平成29年)</li> </ul> <p>[パブリックコレクション]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年 和歌山県立近代美術館</li> </ul> <p>[講演]</p> <p>平成25年 県立広島大学 タイトル「芸術大学と地場産業の連携による地域の活性化」</p> <p>平成26年 University for the Creative Arts Farnham・イギリス Royal College of Art・イギリス Bath Spa University・イギリス タイトル「Exploring Traditional Textiles for Innovation」</p> <p>[ワークショップ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢卯辰山芸工房・石川(平成21年～23年)</li> <li>・Bath Spa University・イギリス(平成26年)</li> <li>・名古屋市美術館・愛知(平成27年)</li> <li>・小牧市民文化財団・愛知 (平成29年)</li> </ul>
所属学会 団体等	特になし
社会的活動	<p>平成22年 審査員: 帽子コンテスト イン ナゴヤ 2009(名古屋帽子協同組合)</p> <p>平成23年 委員: 伝統産業活力向上事業業務委託選定業者委員会(名古屋市)</p> <p>平成27年 審査員: 帽子コンテスト イン ナゴヤ 2015(名古屋帽子協同組合)</p>
その他	<p>平成28年 ウーロンゴン大学(オーストラリア)でアーティスト イン レジデンス</p> <p>平成29年～31年 科学研究費基盤研究(C)採択 採択課題名:「伝統産地を核としたハイブリットテキスタイルの開発」</p>